

5. 生活サービスに関する施策(物流・配送)

92	運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業のうち運輸部門の脱炭素化に向けた次世代型物流促進事業	URL	https://www.env.go.jp/air/car/transportation/index.html				
事業実施主体 (対象者)	支援対象・内容	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	R7年度当初予算 (百万円)	問合せ先	
地方公共団体、 民間事業者・団体等	ハード・ソフト	1/2	調整中		1,415の内数	環境省 水・大気環境局 モビリティ環境対策課 脱炭素モビリティ事業室 03-5521-8301	

運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業 (一部 農林水産省、国土交通省連携事業)



【令和7年度予算(案) 1,415百万円(1,165百万円)】 環境省

運輸部門の脱炭素化に不可欠な先進的システムを実証し、社会実装を前提とした脱炭素輸送モデルの構築等を図ります。

1. 事業目的

- 電動化を始めとする運輸分野の脱炭素化に向けた技術の進展(基礎研究や製品開発)は動きが速いものの、関係者間の連携や社会受容性を高めるための取組が十分ではなく、社会実装が進まないことが課題となっている。
- そのため本事業では、社会的な課題等を踏まえ優先的に取り組むべきと国が定めた分野について、先進的な技術やシステム等を導入し、環境負荷削減効果を把握・検証するとともに、社会実装する上で課題となる障害等の解決策を検討する。これにより、有望な要素技術の社会実装を促進する脱炭素輸送モデルを構築し、運輸部門を始めとしたモビリティの脱炭素化の加速化を図る。

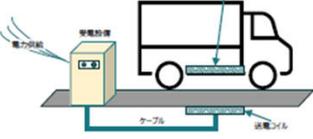
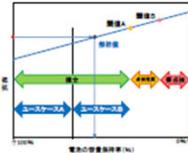
2. 事業内容

- 先端技術・システム等を活用した商用車の電動化促進事業**
車両の電動化に付随して開発されてきた様々な先端技術・システム等を実社会へ導入するためのモデル実証を実施する。例えば、商用車におけるエネマネ、車載型太陽光パネル、非接触給電等の実証を想定。
- 車両の電動化を支えるバッテリーのリユース・リサイクル促進事業**
LiBの信頼性/耐久性/性能等について統一的に評価するための閾値の整理、標準化に向けた検討等のための実証を実施。
- 運輸部門の脱炭素化に向けた次世代型物流促進事業**
重量車両等の電動化困難領域における脱炭素化に必要な技術的課題に対応する、革新的な取組(水素内燃機関、ドローン配送、自動搬送車両等)のモデル的な実証を行う。
- 農業機械の電動化促進事業**
多様な現場において電動農機の利用及び生産性向上のモデルケースを形成する実証を行い、今後の電動農機の普及拡大につなげる。

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託(1)~(4)、直接補助事業(補助率:1/2)(1),(3)、間接補助事業(補助率:2/3)(4)
- 委託先及び補助対象 地方公共団体、民間事業者・団体等
- 実施期間 (1)~(3) 令和6年度~令和10年度、(4) 令和7年度~令和9年度

4. 事業イメージ

- 先端技術・システム等を活用した商用車の電動化促進事業**
商用車における非接触給電を活用したモデル実証

- 車両の電動化を支えるバッテリーのリユース・リサイクル促進事業**
劣化状況に応じた性能目標(閾値)の整理

- 運輸部門の脱炭素化に向けた次世代型物流促進事業**
共同輸配送+ドローン配送によるラストワンマイル配送

- 農業機械の電動化促進事業**
多様な現場でのモデルケースの構築
小型トラクタ 草刈り機


お問合せ先：環境省 水・大気環境局 モビリティ環境対策課 脱炭素モビリティ事業室 電話：03-5521-8301

5. 生活サービスに関する施策(物流・配送)

93	地域の社会課題解決に向けたデジタルライフライン整備加速事業			URL	https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/lifeline.html 	
	事業実施主体 (対象者)	支援対象・内容	補助率等		公募時期	事業要望調査時期
民間企業等	ソフト	1/2, 1/3	3月頃		5,796	経済産業省 情報経済課 03-3501-0397

① ドローン航路 (180km以上)

- 中山間地域の送電線点検や物流・河川点検のために、**ドローンを安全かつ簡便に飛行できる航路を整備**。
- 3月より物流およびインフラ点検を両立する多目的運航の先行実装を浜松市で開始予定。



送電線：
埼玉県 秩父地域
河川：
静岡県 浜松市 (天竜川)

② 自動運転サービス支援道(100km以上)

- 自動運転車の運行を支援するセンサー**を道路側に整備し、合流支援情報の提供などを実施。
- 3月より新東名高速道路の一部区間を自動運転優先レーンに設定し、自動運転トラック実証を開始予定。



出所：ひたちBRT <ハンズ・オフ実証の様子>
出所：T2

高速道路：
新東名高速道 駿河湾沼津SA
～浜松SA間
一般道：
茨城県 日立市(大甕駅周辺)

③ インフラ管理DX (200km²以上)

- 地下埋設された電気・ガス・水道等のインフラ管理データを**3D化**。**点検・工事の生産性向上**を実現。
- 1月よりさいたま市・八王子市で実証開始。



<地面を透過して埋設物を表示> 出所：Earthbrain

埼玉県 さいたま市、
東京都 八王子市

④ 奥能登版デジタルイン

- 有事に人がどこにいるかを把握するための共通の仕組み**を平時から活用するためのインフラを整備。
- 来年度より、奥能登地域で実証開始予定。



奥能登地域